

新国立劇場演劇研修所
第19期生公演

NNI
ドラマ・スタジオ

トミイのスカートからミシンが

After a Sewing Machine Jumped Out of Tomie's Skirt



作 三好十郎
演出 田中麻衣子

美術：伊藤雅子
照明：中川隆一
音楽：国広和毅
音響：黒野 尚
衣裳：宮本宣子
振付：前田清実
演出助手：中西良介
舞台監督：瀬崎将孝

演劇研修所長：宮田慶子
主催・制作：新国立劇場

design: Kazuhiko Aizawa, illustration: Tomiyuki Tanaka

2025年11月11日(火) — 16日(日)

とびだした話

新国立劇場
小劇場 — THE PIT

三好十郎の、人間の本质を炙り出す、骨太で力強い言葉
熱気あふれる研修生たちが全身全霊でお届けします

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 演劇研修所 演劇研修係 尾崎・西島・上田

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: dramastudio@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研修所ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



新国立劇場

NNI
ドラマ・スタジオ

【作品概要】『トミイのスカートからミシンがとびだした話』

新国立劇場演劇研修所では、第 19 期生公演として、三好十郎作、田中麻衣子演出『トミイのスカートからミシンがとびだした話』を、11 月 11 日（火）から 16 日（日）まで、新国立劇場小劇場にて上演します。

三好十郎は、昭和初期から 30 年代前半にかけて、日本演劇史に数多くの名作を遺した、現在も作品の上演が続く日本を代表する劇作家の一人です。

『トミイのスカートからミシンがとびだした話』は、敗戦後の占領下の激動の社会の中で、身体を張って生きていくしかなかった貧しく若い女たちと彼女たちを取り巻く男たちの苦闘、挫折と情熱を描く群像劇です。

三好は、矛盾に満ちた社会をありのままに描きます。若い俳優たちは、人間が持つ本性～愚かさ、卑しさ、醜さ～を露わにしながらも社会の中で懸命に生きる人間の姿を、全身全霊を込めてエネルギーに演じます。

戦後 80 年の今年、演劇研修所では 8 月、朗読劇『少年口伝隊一九四五』に臨み、戦争の悲惨さについて深く考える機会を得ました。今回は、敗戦後の激動の社会の一断面を見つめます。

【なぜ、三好十郎作品を取り上げるのか】

宮田慶子演劇研修所長は、3 年次に 3 本の公演を行うこととし、夏に朗読劇を行い、秋公演と修了公演にて日本の劇作家の作品と海外の劇作家の作品をどちらかで取り上げることとしています。今回は、秋公演にて日本の劇作家の作品を取り上げます。3 年次学年担任であり、この公演の演出を担当する田中麻衣子の提案により、本作品の上演が決定しました。

田中は、作品選定理由について、次のように語っています。

「三好十郎の、人間の本質を炙り出す、骨太で力強い言葉に強く魅力を感じてきました。この大劇作家の作品と向き合うには、経験に関係なく、心身ともに全力で立ち向かわないと太刀打ちできません。その強固な作品に、研修生活の中で出会うことは、将来の俳優人生にとってかけがえのない経験になると考えています。12 期生（2018 年）ではじめてこの作品を採り上げたとき、大きな手ごたえがありました。時代は異なりますが研修生の年齢と近い役柄も多く、今回も、彼らの熱気あふれる、今の 19 期生にしか出来ない作品作りになると確信しています。

三好十郎の世界を存分にお楽しみいただきたいと思います。」

【ものがたり】

敗戦後 1、2 年を過ぎた頃、富子は、東京で働いて貯めたお金でミシンを手に入れ、洋裁で生活しようとしていた。戦時中、富子は空襲で両親を失い弟・妹と共に焼け出されたところを、東京郊外に住む伯父夫婦に助けられたのだった。富子は、洋裁で弟・妹の面倒も見ながら暮らそうと伯父夫婦のもとに戻った。「進駐軍仕込みの洋裁でダンスも踊れる美女が帰ってきた」と町中の噂となり、美談として新聞にも取り上げられた。しかし、富子のお金は身体を売って貯めたものであることが週刊誌に書かれ、周囲の態度は一変し、富子は、伯父の家を飛び出し流転の人生を歩むこととなる...

様々な社会の波に揉まれ、富子は職を転々とした後、結局、東京で身体を売っていた仲間のところに戻っていく。

「みんないろいろになつたけどさ、あたいたちの此處が一番だ。ザマアみろう！」

そこに、ある職場で出会った男が、富子を訪ねてくる.....

【スタッフ】

作：三好十郎

MIYOSHI Juro

1902 年～58 年。吉江喬松に師事し、早稲田大学在学中に詩人としてデビュー。28 年、高見順らと左翼芸術同盟を結成。同年、処女戯曲『首を切るのは誰だ』を発表。全日本無産者芸術連盟(ナッパ)に参加、『疵だらけのお秋』のほか小説・詩を書き、31 年、処女戯曲集『炭塵』を出版。以降、プロレタリア劇作家として知られたが、社会的リアリズムと呼ぶ創作方法により、政治主義・公式主義に不満を抱き組織から離れる。生涯で戯曲やラジオドラマの脚本等、80 を超える作品を発表し、『炎の人～ゴッホ小伝』等の成果により 52 年読売文学賞戯曲賞を受賞。代表作に『斬られの仙太』(34 年)、『浮標』(40 年)、『崖』(46 年)、『廃墟』(47 年)、『その人を知らず』(48 年)、『胎内』(49 年)、『殺意 ストリップショウ』(50 年)、『炎の人』(51 年)、『冒した者』(52 年)等。58 年 12 月 16 日、東京・赤堤の自宅書斎で逝去。享年 56 歳。戯曲体で 81 枚、小説体で 130 枚書かれた『神という殺人者』が絶筆未完の遺作となったほか、『悪人を求む』が遺稿として同年 12 月 19 日の読売新聞で発表される。

『トミイのスカートからミシンがとびだした話』は、敗戦後の 1946 年から 1952 年にかけて次々と名作を生み出した、三好にとっての充実期の書かれた作品のひとつ。

『トミイ』は、「群像」1951 年 2・3 月号に連載発表され、同年 11 月、三好自ら主宰する戯曲座によって、石崎一正演出により渋谷公会堂にて初演された。同時期に書かれた『炎の人～ゴッホ小伝』は劇団民藝により初演され、観客動員 10 万人を記録。

この時期の三好の成果について、文芸評論家の奥野健男は「戦後初期の新劇の不振の約十年間の中で、真にあふれるような、火山の噴火のような仕事で、新劇というジャンルを、いや劇作家の光栄と責任を負ったのは三好十郎だけと言ってよい。三好十郎は日本の戦後新劇をひとりで負っていたのだ。」と述べている。(「現代日本戯曲大系 第一巻」解説、三一書房、1971 年)

三好作品は、代表作『炎の人～ゴッホ小伝』をはじめ、数々の作品が没後 70 年近くを経た現在でも上演され続けている。

新国立劇場では、これまでに『浮標』『胎内』『斬られの仙太』『夜の道づれ』等 6 作品を上演。

演出：田中麻衣子

TANAKA Maiko



演出家

1978 年 7 月 15 日生まれ。兵庫県宝塚市出身。

日本大学芸術学部演劇学科演出コース卒業。2014 年度文化庁新進芸術家海外研修制度にてロンドンで研修。新国立劇場演劇研修所学年担任(3 年次)。

日本の近代、新作戯曲からギリシャ悲劇やシェイクスピアなどの海外古典、新作ミュージカルなど多岐にわたり手掛けている。

新国立劇場演劇研修所では、2008 年 2 月、第 1 期生修了公演より演出家・栗山民也氏の演出助手を務め、講師補佐を経て講師(コーチ)を務める。2011 年度よりアソシエイトディレクター、2020 年度より学年担任(3 年次)。

2022 年 11～12 月、KAAT 神奈川芸術劇場にて上演された演出作品『ライカムで待っとく』が、第 30 回読売演劇大賞作品賞を受賞。同作品は 2024 年 5～6 月、同劇場にて再演。

2025 年 7～8 月、世田谷パブリックシアター シアタートラムにて上演された演出作品『キャプテン・アメイジング』(作：アリスター・マクドウオール)が、好評を博した。男性俳優の一人芝居である同作品がトリプル・キャストで組まれていたことも話題となった。

<新国立劇場演劇研修所での演出作品>

2012 年 9 月	朗読劇『ハーメルンの死の舞踏』(作：ミヒャエル・エンデ、訳：佐藤真理子、子安美知子)
2015 年 10 月	『血の婚礼』(作：フェデリコ・ガルシア・ロルカ、翻訳：牛島信明)
2016 年 11 月	『ロミオとジュリエット』(作：ウィリアム・シェイクスピア、翻訳：河合祥一郎)
2017 年 10 月	『ある階段の物語』(作：アントニオ・ブエロ・バリエホ、翻訳：野々山真輝帆)
2018 年 10 月	『トミイのスカートからミシンがとびだした話』(作：三好十郎)
2019 年 8 月	日英演劇アカデミー国際交流公演『怪物/The Monster』(脚本：アゴタ・クリストフ、翻訳：堀茂樹)
2020 年 8 月	朗読劇+ダンス『オズマ隊長』(原作：手塚治虫)
2021 年 10 月	『七本の色鉛筆』(作：矢代静一)
2022 年 10 月	『燃ゆる暗闇にて』(作：アントニオ・ブエロ・バリエホ、翻訳：佐竹謙一)
2023 年 11 月	『君はすなわち春を吸ひ込んだのだ』(作：原田ゆう)
2024 年 8 月	朗読劇『風が吹くとき』(作：レイモンド・ブリッグズ 翻訳：さくまゆみこ)

【キャスト】

新国立劇場演劇研修所 第19期生

			
井神 峻太 いがみ りょうた (兵庫県出身)	大田 真喜乃 おおた まきの (京都府出身)	菊川 斗希 きくかわ とし (山口県出身)	崎山 新大 さきやま しんた (静岡県出身)
			
田村 良葉 たむら かずは (秋田県出身)	千田 碧 ちだ あお (長野県出身)	辻坂 優宇 つじさか ゆう (大阪府出身)	中島 一茶 なかじま いっさ (神奈川県出身)
			
野仲 咲智花 のなか さちか (千葉県出身)	向井 里穂子 むかい りほこ (滋賀県出身)	森 唯人 もり ゆいと (大阪府出身)	和田 壮礼 わだ たけのり (大阪府出身)

【公演概要】

新国立劇場演劇研修所第19期生公演 『トミイのスカートからミシンがとびだした話』

作：三好十郎
演出：田中麻衣子

美術：伊藤雅子
照明：中川隆一
音楽：国広和毅
音響：黒野 尚
衣裳：宮本宣子
振付：前田清実
演出助手：中西良介（第10期修了）
舞台監督：瀬崎将孝

出演：新国立劇場演劇研修所 第19期生
井神峻太 大田真喜乃 菊川斗希 崎山新大 田村良葉 千田 碧
辻坂優宇 中島一茶 野仲咲智花 向井里穂子 森 唯人 和田壮礼

演劇研修所長：宮田慶子
主催・制作：新国立劇場

会場：新国立劇場 小劇場

公演日程：2025年11月11日(火)～16日(日)

	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
11月			14:00		14:00	14:00
	18:30	18:30		18:30		

チケット料金 (10%税込)

A席	B席	U25席	Z席(当日券)
3,850円	3,300円	1,650円	1,650円

一般発売：2025年10月2日(木) 10:00～

*クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。

*U25席は、ご観劇当日に25歳以下の方が対象です。Webボックスオフィスのみでのお取り扱いです(電話予約不可)。

入場時、チケットと共にご年齢を確認できる証明書(コピー不可)をご提示ください。

*就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

*11月15日(土)、16日(日)公演は、託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。(定員制/要予約/有料)

【チケットのご予約・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

【新国立劇場 演劇研修所について】

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指しています。研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了者は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

●新国立劇場演劇研修所ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>

●動画「10分でわかる！新国立劇場演劇研修所」
：<https://www.youtube.com/watch?v=vukQT4ZRJac>



アクション



海外招聘講師 特別授業



シーンスタディ

第22期生選考試験のご案内

2026年4月入所の第22期生を以下の要領にて募集いたします。

研修期間：3年間（第22期生は2026年4月から2029年3月まで）

募集人数：16名程度

出願資格：①プロフェッショナルな俳優としての舞台活動を目指していること。

②高等学校卒業もしくは同等の資格を有すること。

③2026年4月1日時点で満18才以上、満30才以下であること。

④心身ともに健康であること。

⑤外国籍者の場合、日本語が理解できること。および、研修期間中の日本国内滞在許可が取得できること。

選考試験日程：

- ・願書受付期間：2025年11月4日（火）～12月2日（火）
- ・第1次試験：2025年12月17日（水）、18日（木）のいずれか1日
- ・第2次試験：2025年12月20日（土）
- ・第3次試験：2025年12月21日（日）

場 所：芸能花伝舎内新国立劇場演劇研修所（西新宿）

受験料：11,000円（税込） ※振込手数料はご負担ください。

詳細は、新国立劇場演劇研修所ウェブサイトからご覧ください。

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/audition/>